

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年2月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県宗像市離島航路確保維持協議会	宗像市	地島～神湊	・離島航路担当部署と離島振興担当部署を統合した強みを活かして常日頃から密に情報共有・連携を行い、ターミナルでのイベント掲示やイベント時の円滑な来客対応など来島促進に向け取り組みを強化した。・国から示された旅客船の安全確保に向けたさまざまな施策について、適宜情報を把握し、適切に対応した。	A	B	・アフターコロナの来島促進に向けて、離島振興担当部署と連携し来島促進に向けた情報発信等の取り組み強化に努める。・「旅客船の総合的な安全・安心対策」に基づく国からの指示等に則り、船員・事務員一丸となって安全運航の継続実現に向けて適切な対応を行う。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、離島振興担当部署と連携し、釣り・ウォーキングなど地島の魅力について情報発信等を行い、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県宗像市離島航路確保維持協議会	宗像市	大島～神湊～地島	・離島航路担当部署と離島振興担当部署を統合した強みを活かして常日頃から密に情報共有・連携を行い、ターミナルでのイベント掲示やイベント時の円滑な来客対応など来島促進に向け取り組みを強化した。・国から示された旅客船の安全確保に向けたさまざまな施策について、適宜情報を把握し、適切に対応した。	A	A	・アフターコロナの来島促進に向けて、離島振興担当部署と連携し来島促進に向けた情報発信等の取り組み強化に努める。・「旅客船の総合的な安全・安心対策」に基づく国からの指示等に則り、船員・事務員一丸となって安全運航の継続実現に向けて適切な対応を行う。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、離島振興担当部署と連携し世界遺産や釣り・オルレなど大島の魅力について情報発信等の取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県新宮町離島確保維持協議会	新宮町	相島～新宮	乗船客の利便性向上と利用者数増に向けた取り組みに関しては、待合所における多言語表示や積み残しに対する臨時便の運航など、サービス向上に努めた。	A	A	引き続き旅客船の安全運行に向けた新しい基準及び取組に対応しつつ、乗船客の利便性向上と利用者数増を目指していくとともに、より効率的な航路運営を図っていく。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 引き続き利用者の利便性向上、観光客誘致による利用者数増加を目標に、離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県福岡市離島航路確保維持協議会	福岡市	玄界島～博多	利用者が安心・快適に乗船できるよう船舶および施設の整備に努めた。また、情報発信に関しては、SNS等を活用するほか、市庁舎等でパネル展を実施するなど島民以外の利用者拡大に努めた。	A	B	利用者が安心・快適に乗船できるよう、設備の修繕等のハード面への対応と同時に、安全運航の徹底等、ソフト面もさらに強化していきたい。また、更なる利便性向上に努めるとともに、SNS等を活用した情報発信を行い、島民以外の利用者拡大にも努めていく。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、更なる利便性向上に努めるとともに、SNS等を活用した情報発信による利用者数増加を目標に、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県福岡市離島航路確保維持協議会	福岡市	小呂島～姪浜	利用者が安心・快適に乗船できるよう船舶および施設の整備に努めた。また、情報発信に関しては、SNS等を活用するほか、市庁舎等でパネル展を実施するなど島民以外の利用者拡大に努めた。なお、新船の建造に関しては予算が確保されたため、設計作業を進めている。	A	B	利用者が安心・快適に乗船できるよう、設備の修繕等のハード面への対応と同時に、安全運航の徹底等、ソフト面もさらに強化していきたい。また、更なる利便性向上に努めるとともに、SNS等を活用した情報発信を行い、島民以外の利用者拡大にも努めていく。欠航率の改善については、時化に強い省エネ船舶の建造を目指していく。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、更なる利便性向上に努めるとともに、SNSやイベント等を活用した情報発信による利用者数増加を目標に、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県糸島市離島航路確保維持協議会	糸島市	姫島～岐志	引き続き、糸島市航路改善計画に基づき、利用者の増進及び利便性向上に努めている。また、継続して、市観光部門が作成した「ひめしまップ」を船内や岐志観光休憩所に配架、また市観光協会に配布し、島の魅力をアピールすることで、観光客等の利用増進に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響等から利用者が回復傾向にあったこともあり、利用者の増進を図ることができた。	A	B	島民や島外からの来島者が安心して渡船を利用できるよう、安全運航を徹底し運航する。また、観光パンフレット「ひめしまップ」の配布による情報発信を行い、福岡都市圏から1時間ほどで自然が満喫できる島の魅力をアピールし、観光客や団体利用客の再利用・新規利用等島外利用者の拡大に努めていくとともに、利用者に運航状況に関する情報を提供するために「のりものinfo」の活用を実施する。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、観光パンフレット、ホームページ、SNS等による情報発信を行うことで島外利用者の拡大を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
福岡県北九州市離島航路確保維持協議会	北九州市	藍島～小倉	①経費縮減 船員が対応可能な小修繕を行い経費削減を図るとともに、停泊時のアイドリングストップや入札により高騰する燃料費の抑制に努めた。 ②離島活性化 島で定期的な活動を行う海岸清掃活動団体など島の応援者たちの参加により、島外との繋がりを継続していく。 ③増客対策 ペアチケットやファミリーチケットの活用や、夏季増便を運航し、島外からの集客を図った。また、デジタル化に合わせて小倉待合所や、「こくら丸」へのWi-Fiの導入などを実施。利便性の向上など集客対策を行った。 ④船員の雇用対策 退職に伴う船員減に対して新規雇用による船員数の確保を実施するとともに、派遣船員の活用などを行い、安定した	A	A	①経費縮減 船舶修繕計画の最適化を継続的に検討し、不要な出費の抑制を図るとともに、燃料調達コストのさらなる効率化など、多角的な視点から経費の縮減に努めていきたい。 ②離島活性化 島で定期的な活動を行う海岸清掃活動団体など島の応援者たちの参加により、島外との繋がりを継続していく。 ③増客対策 マイクロツーリズムの傾向を捉え、GWや夏季休暇といった繁忙期に合わせた臨時便の運航や割引チケットの活用、御船印プロジェクトへの参加による知名度向上など、集客対応に力を入れたい。 ④船員の雇用対策 退職に伴う船員減に対して新規雇用による船員数の確保を行い、安定した運航を図る。加えて、小倉改札の改修に伴う倉庫や船員控室の整備を通じて就労環境の改善を図り	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 経費削減、離島活性化、増客対応、船員の雇用対策などを行い、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路 確保維持協議会	有限会社 郵正丸	馬渡島～名護屋・ 呼子(本土)間を運航	1)離島住民の島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等、日々の生活を支えるという観点から、確実な計画運航回数の実施を目標とした。 2)航路経営の費用は必要最小限として可能な限り削減に努めることとし、安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行による修繕費の削減等により、経費削減に努める。	A	B	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、令和4年度に策定した航路改善計画の遂行の他、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 航路改善計画に沿って実施した使用船リプレースによるランニングコスト減をはじめとしたコスト削減を図る等により、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
唐津市離島航路 確保維持協議会	有限会社 加唐島 汽船	加唐島～呼子(本 土)間を運航	1)離島住民の島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等、日々の生活を支えるという観点から、確実な計画運航回数の実施を目標とした。 2)航路経営の費用は必要最小限として可能な限り削減に努めることとし、安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行による修繕費の削減等により、経費削減に努める。 3)航路改善計画に基づき、小型の新船を建造した。(令和9年4月就航)	A	A	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、令和5年度に策定した航路改善計画の遂行の他、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 令和5年度に策定した航路改善計画の遂行等によりコスト削減を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
唐津市離島航路 確保維持協議会	川口汽船 有限会 社	小川島～呼子(本 土)間を運航	1)離島住民の島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等、日々の生活を支えるという観点から、確実な計画運航回数の実施を目標とした。 2)航路経営の費用を必要最小限として可能な限り削減に努めることとし、共通予備船の利用や安価な契約の締結による燃料費の削減、日常の整備点検励行等による修繕費の削減により、経費削減にと努める。共通予備船の代船として貸し出すことにより収益の増加を図る。	A	B	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・共通予備船の利用回数を増やすことで燃料消費量の削減を図るとともに、安定的な航路運営に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 令和6年度中に策定される航路改善計画に沿った取組を行い、また来島促進に向けて、島内で行われるイベントとのタイアップや釣り愛好家への情報提供などで利用者の増加を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	
唐津市離島航路 確保維持協議会	唐津汽船 株式会 社	神集島～湊(本土) 間を運航	1)離島住民の島外への通勤、通 学、通院、生活物資の購入等、 日々の生活を支えるという観点か ら、確実な計画運航回数の実施を 目標とした。 2)航路経営の費用は必要最小限 として可能な限り削減に努めるこ ととし、安価な契約の締結による燃料 費の削減、日常の整備点検励行に よる修繕費の削減等により、経費 削減に努める。	A	B	・県や市の離島振興部局との連携により、島内でのイベント開催、島の魅力発信、釣果情報の提供など利用客の利便性を向上させ、旅客を増やすための取り組みを検討する。 ・引き続き安定的な航路運営に努め、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 来島促進に向けて、島内でのイベント開催、島の魅力発信など利用客の利便性を向上させることで島外利用者の拡大を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。
長崎県離島航路 対策協議会	九州郵船株式会 社	博多～比田勝	うみてらしの就航率の高さと運航の 確実性をよりアピールし、利用率の 増加に繋がる販促活動を継続的に 実施した。また博多～壱岐～対馬 航路の代替航路として、利用客に 積極的にアピールを行った。	B	A	・対馬島内では年々高齢化が進み、若 年層の島離れが加速して来ている状 況の中で島民依存だけでは、本航路の 利用増は見込めない。 ・就航船の快適性や信頼性は年々利用 客に浸透して来ているものの、今後は特 に上対馬地区の観光資源を本土の旅行 代理店等に訴求し、ツアー客送客の促 進につながるような積極的な販促活動 を強化していく。	島内の人口減少が進む中で、島民の 民生の安定及び向上のため、離島航路 を維持していること自体評価できます。 新船を導入後、年々利用者が増加し ていることから、本航路の快適性や信頼 性をさらに訴求し、営業活動を実践す ることで利用者の拡大を図り、引き続 き離島航路の確保維持に努められるこ とを期待します。
長崎県離島航路 対策協議会	崎戸商船株式会 社	友住～佐世保	離島航路改善計画実施により、費 用の削減に努めた。	A	B	・新型インフルエンザやコロナ感染防 止対策を確実に継続するとともに、江 島沖洋上風力発電事業の工事に対応し 、事業者・自治体と協力して行く。	島内の人口減少が進む中、また燃料 費高騰や物価上昇の中、島民の民生の 安定及び向上のため、離島航路を維持 していること自体評価できます。 来島促進に向けて、各事業者・自治 体と連携して島外利用者の拡大を図 り、引き続き離島航路の確保維持に 努められることを期待します。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	九州商船株式会社	佐世保～上五島	積極的な営業活動により交流人口の増加に努めるとともに、令和5年度策定の航路改善計画に沿って使用船舶の変更を行い、安定的な航路維持に努めた。	A	A	・令和5年度策定の航路改善計画に基づき使用船舶・運航ダイヤの変更を行い、利便性の改善等に向けて取り組む。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 令和5年度策定の航路改善計画に沿って、利便性の改善等に努め、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	野母商船株式会社	福江～青方～博多	①減速運航は、博多～宇久下り便に於いて継続して行い燃料費削減に努め、経費に於いては、船舶の維持点検を行い修繕費の抑制に努めた。 ②新たな得意先の獲得等積極的な営業活動を実施継続し増収に努めた。	A	A	・減速運航は、博多～宇久下り便に於いて継続して行い燃料費削減に努め、経費に於いては、船舶の維持点検を行い修繕費の抑制に努める。 ・新たな得意先の獲得等積極的な営業活動を実施継続し増収に努める。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 また、地道な営業活動により、新規顧客の確保に努められていることも評価できます。 今後も営業活動等による増収に関する取組や、経費削減の取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	五島旅客船株式会社	郷ノ首～福江	新船が就航し、旅客の利便性向上に努めた。 運航の定時性を確保しながら潮流の状況を勘案し、時間的に余裕があるときは主機関の回転数を落とすことにより燃料費の削減に努めた。 日常メンテナンスを計画的に実施し、船員が可能な範囲で整備修繕を行い修繕費の削減に努めた。	B	A	・令和8年度は幅広く求人活動を実施し、通常航海が再開できるように努める。 ・日々のメンテナンスや点検を励行し、機関トラブルの未然防止、安全運転に努める。	島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も旅客の利便性向上、経費削減、交流人口増加を図ることで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	佐世保市(宇久)	神浦～寺島～柳	機関調整等による欠航をすることがないよう、適切な点検整備を行い、運航率の安定を図った。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適切な点検整備等を行い、機関調整による欠航を減らし、急激な就航率の低下とならないよう努める。 より一層の経費節減に努め、運航の効率化を図る。 再エネ事業の進捗により、事業者の利用が一定確保できており、それに伴い史跡調査等の事業関連利用者が増えているため、利用者数の改善が望める。 	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。今後も、機関点検による欠航回数の減少に向けた取組を実施され、風力・太陽光発電関連事業の輸送需要増加を捉えることにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	津吉商船株式会社	津吉～相浦～佐世保	<ul style="list-style-type: none"> 平戸南部地区の過疎化に伴う人口の自然減による輸送人員の減少を補うため、平戸商工会議所主導による南部地区町おこしの一環として「南部地区活性化委員会」にも参加し、観光客誘致に努めた。各種イベント等に関しても、可能な限りのPRを行い、平戸島外からの入込み客を増やすことにより運賃増収に努めた。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。 佐世保コンベンション協会に働きかけ佐世保地区へのPR化を図り、広域観光ルートの構築に取り組む。 平戸商工会議所主導による「南部地区活性化委員会」にも参加し観光誘致に努め、各種イベントに関しても、出来る限りPRを行い、運賃の増収に努める。 船舶修繕費については、船員で整備修繕を行い、経費削減に努める。 	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。広域観光ルートの構築、各種イベントのPR等により交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	西海沿岸商船株式会社	佐世保～神浦	計画どおり事業は適切に実施された	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止対策を確実に継続する 西海市及び長崎市(池島)と連携し航路利用客の増加に努める。 池島産廃処理施設稼働に向け、協力していく。 	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。関係機関との連携により利用者数増加を図るとともに、航路改善計画に沿った取組を継続され、国庫補助対象区間の拡大などで大きな転換を迎える中、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	平戸市	大島～平戸	燃料潤滑油が高騰している中、毎月単価見積入札を実施し、購入価格の低減に繋げた。 また、離島住民割引については、基準となるバス料金の値上げにより、令和6年6月から、国の助成が受けられなくなったが、市の補填により引続き実施したため、離島住民の利便性確保及び負担軽減を図ることができた。	A	B	・原油価格が高騰しており、今後も主機回転数の抑制や、引き続き毎月の見積入札制度を継続し、経費削減に努める。 ・また、日頃からの点検により小修理等可能な限り船員で行い経費節減に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 経費削減、利用客増加に努め、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	対馬市	仁位～長板浦	有人国境離島割引及び同障害者割引により、地域住民の利用促進を図った。 経費については、小修繕・船舶保守点検など可能な限り船員で行った。 また、主燃料(A重油)の入札を年4回実施するなど経費削減に努めた。	B	B	・本航路は主に病院受診のための高齢者、障がい者が利用している。 ・人口減少により、本航路利用者は減少の一途をたどっているが、近年は本市を訪れた個人旅行者が観光目的で本航路を利用されている。 ・よって、地域住民のみならず個人旅行者の利用促進を図り、利用者数・収入の増に繋げたい。 ・また、船舶修繕等について、船員で対応可能な範囲の整備や修繕、点検は船員で実施することで経費の削減に努めたい。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、個人観光客の取り込み、経費削減等を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	野母商船株式会社	長崎～伊王島～高島	・令和5年10月1日より旅客運賃の値上げを実施。(離島住民運賃割引も実施) ・乗船券と高島のレジャー施設の入場券をセットにしたパック商品等の販売を継続し、利用客増に努めた。 ・船舶版の御朱印である「御船印」の販売を実施して乗船客の増加に努めた。	A	B	・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後もパック商品、「御船印」の販売等を通じて収支改善を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	鷹島汽船有限会社	阿翁～御厨	令和6年10月1日西肥バス運賃改定により離島住民運賃割引14区間の内5区間に離島住民運賃割引を導入した。 交流人口拡大及び観光客の誘致のために「まつら交流公社」と協力して、青島への体験型修学旅行生の受け入れに努めた。 燃料潤滑油費では、主機関の回転数の調整による経済運転による経費節減に努めた。 船舶修繕費では、船員による日頃からの保守点検による経費節減に努めた。	A	A	・平成27年度に松浦市地域公共交通活性化協議会「殿ノ浦～今福航路対策分科会」において、阿翁～御厨航路に飛島を寄港地として追加する航路改善計画を作成した。 ・それに伴い寄港地である飛島に週1回(原則水曜日)本航路の「フェリーたかしま2」を運航して、尿尿運搬車・ゴミ収集車・プロパンガス運搬車・燃料運搬のタンクローリー車等の車両輸送を行っている。 ・令和4年度に策定した「松浦市地域公共交通計画」に基づき今後は長期的視点にたった持続的な経営効率化と関係者間の連携強化を図る事にしている。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も航路改善計画に沿った取組を継続し、関係機関と連携した交流人口拡大及び観光客の誘致を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	鷹島汽船有限会社	殿ノ浦～今福	離島住民運賃割引の実施及び寄港地である飛島へ島外からの釣り客利用者の誘致に努めた。 燃料潤滑油費では、主機関の回転数の調整による経済運転による経費節減に努めた。 船舶修繕費では、船員による日頃からの保守点検による経費節減に努めた。	A	B	・令和4年度策定した「松浦市地域公共交通計画」に基づき、今後は長期的視点にたった持続的な経営効率化と関係者間の連携強化を図る事にしている。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も関係機関と連携し、交流人口拡大及び観光客の誘致を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	舌岐市	大島～郷ノ浦	・校外学習によるフェリーの利用等、収入の維持確保を図った。 ・経費については、燃料油費の毎月単価入札の実施、中間検査における一般競争入札の実施の他、船員自らデッキ等の塗装及び機器整備を実施する等、日頃から船舶保守点検を徹底し、経費節減に努めた。	A	B	・人口減少、少子高齢化等により、運航収益の減少が危惧されるが、交流人口の拡大を図り収入の維持確保に努める。 ・今後も船員による船舶保守点検を徹底し、経費節減に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、島外からの観光客・教育旅行等による乗客及び交流人口を増やす取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	黒島旅客船有限会 社	黒島～高島～相浦	高齢化・過疎化が進むなか、引き続き佐世保市と連携し観光客集客に努めた。 多客期の運航期間や便数調整し欠損増加の抑制に努めた。また船員による船舶の錆落とし、補修、日々の清掃、定期点検を実施し維持管理を行い経費節減に努めた。また経費の精査を行い節減に努めた。	A	B	・高齢化・過疎化が進むなか、引き続き佐世保市と連携し観光客集客に努める。 ・多客期の運航期間や便数調整、車両の配乗計画等を工夫し欠損増加の抑制に努める。 ・今後も引き続き、船員による船舶の錆落とし、補修、日々の清掃、定期点検を実施し維持管理を行い経費節減に努める。 ・令和7年10月の運賃改定にて増収を目指し、収支改善に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も佐世保市と連携しながら観光客等の交流人口を増やす取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	五島市(奈留)	奈留島～前島	・安全かつ安定的な運航を徹底するなど利便性を向上させた。 ・現在の運航形態(民間委託及びデマンド運航)を継続し、離島航路の確保・維持することができた。	A	B	・安全かつ安定的な運航を徹底するなど利便性の向上に努める。 ・現在の運航形態(民間委託及びデマンド運航)を継続し、離島航路の確保維持に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、引き続き航路改善方策に取り組まれることにより、離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	有限会社木口汽船	久賀～福江～杵島	修繕費については、「シーガル」はリプレイスで削減できたが、「フェリーひさか」の上架工事費や「ソレイユ」のオーバーホール代が物価高騰で増額となった。 消耗品費は、ネット販売や見積りで比較し購入したが、部品の値上げで増加した。 観光業においては、夏休み前にポスターやパンフレットを配布しPR活動を行ったが、多客期の天候悪化で利用者数が昨年度より減少した。	A	A	・現状の運航体制を可能な限り維持しながら、経費を削減し、経営を行っていく。 ・燃料費の高止まりや物価上昇が続いており、修繕費や消耗品費が増加している。造船所や修理業者と情報交換を行い、長期的な計画を視野に入れたメンテナンスや、代替品・中古部品の使用等も活用し、できる限り費用を削減できるように検討を重ねていく。 ・無資格で雇用した船員については、免許取得の時期など計画的に船員育成ができる環境づくりに力を注ぎ、島民の利便を確保しつつ、観光客誘致にも努めた。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 また、特に離島航路の船員雇用は難しい中で新規船員を獲得出来たことは評価に値します。 今後も交流人口を増やす取組を実施され、費用削減を図りつつ引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	有限会社黄島海運	黄島～福江	日頃から経費の削減に努め安定的な航路運営を図った。燃料費の安価購入のため、単価購入契約を実施している。	A	B	・離島住民及び利用者の要望を常に聞きながら、利用者の目線で事業運営に努めていきたい。 ・令和4年4月「おうしまⅡ」の就航により、修繕費、燃料費の経費削減に努めている。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 新船効果などを活用しつつ利便性の向上を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	竹山運輸有限会社	度島～平戸	旅客増の為に釣り客の増加に努めたが、漁獲量減の為に維持に留まった。	A	B	・今後は予測が難しい故障でも、小さい異常を早期発見し修理を行うことで修理費の削減に努める	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も釣り客等の交流人口拡大、経費削減に努め、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	小値賀町	笛吹～大島・野崎	町の観光窓口である「おぢかアイランドツーリズム協会」と協議し、利用者数が少ないダイヤについては減便するなどの措置をとった。	A	B	・効率的な運航、ダイヤの見直し、航路の再編及び増収策など、関係機関と協議を行い、事業の継続に取り組む。 ・船員による機関等の点検を徹底し、修繕費の節減に努める。 ・燃料購入について見積入札を継続し、燃料潤滑油費の節減に努める。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、野崎島を活用した交流人口の増加、世界遺産関連の情報発信による利用客増加を図り、費用削減や利便性向上に取り組むことで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路 対策協議会	小値賀町	柳～納島	関係機関と連携し、情報発信や特産品である落花生の収穫体験等をはじめ、地域おこし協力隊が開業した宿泊施設(ゲストハウス)の活用により、更なる利用客の促進を図った。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な運航、ダイヤの見直し、航路の再編及び増収策など、関係機関と協議を行い、事業の継続に取り組む。 ・船員による機関等の点検を徹底し、修繕費の節減に努める。 ・燃料購入について見積入札を継続し、燃料潤滑油費の節減に努める。 ・地域おこし協力隊がR7.11末で終了となるため、今後新たな利用増加策を図る必要がある。 	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。今後も地域おこし協力隊との連携による釣り客など新たな利用客の確保に努め、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
長崎県離島航路 対策協議会	嵯峨島旅客船有限公司	嵯峨島～貝津	ドック時に傭船する期間を予備の日数も見込んでいたが、船員の努力で1日早く終えることができた。	A	B	早急に船員不足を解消するために、求人等を何とかしなければならぬ。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。船員の雇用について様々な試みを実施し、将来の安定的運航に向けて、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
天草～長崎航路 対策協議会	苓北観光汽船株式会社	富岡～茂木	<ul style="list-style-type: none"> ・観光航路について、町イベント時に観光航路(イルカウォッチング・サンセットクルージング等)を計画・情報発信し、観光客等の航路利用者の確保を図る。 ・Paypay、Airpay等の電子決済導入による利便性の向上維持、並びに富岡港からの二次アクセス機能の維持による観光客等の利用拡大に向けた周知を行う事で、航路利用者の確保を図る。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍前の利用水準に戻せるよう、観光航路を含めた情報発信を関係団体と連携し取り組む。また、航路が結ぶ地域間の交流人口の拡大を図り、航路利用者の確保を図る。 	地域の過疎化が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、地域住民の民生の安定及び向上のため、航路を維持していること自体評価できます。今後も、イルカウォッチング・サンセットクルージング等の観光航路を活かした交流人口の増加策を関係団体と連携して取り組んでいくことにより、引き続き航路の確保維持に努められることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
姫島～国見航路 運営協議会	姫島村	姫島～国見の離島 航路の運航	<p>○おおいた姫島ジオパークを活用した観光事業や各種イベントを通じて新型コロナウイルス感染症拡大前の村外来島者数を目指している。</p> <p>○施設修繕費の節減の徹底などにより、欠損額増加の抑制や安定的な航路運営に努めている。</p>	A	B	<p>○日本ジオパーク等の地域資源を活かし、県内外からの観光客誘致を進めて交流人口の増大を図る。</p> <p>○船舶については常時点検を行うことで機械的に良好な調子を保ち、大規模な修繕の発生を回避する。</p> <p>○引き続き経営収支の改善に努めるとともに、船員及び職員の安全教育に注力し、更なるサービスの向上に努める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も日本ジオパーク等の地域資源を活かし、県内外からの観光客誘致を進める等の交流人口を増やす取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
大島～佐伯航路 運営協議会	佐伯市	大島～佐伯の離島 航路の運航	<p>新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、釣り客等の来島者が増加し増収となった。協議会委員には、市の地域振興部長や佐伯市あまべ商工会会長、大島地区自治会長を任命しており、協力して移住や観光、利用促進等の取組を行っている。</p>	A	B	<p>○地元商工会、観光協会等の関係機関と連携して情報発信を行うとともに、活性化方策として島内イベント等を開催し、需要の喚起を図る。</p> <p>○船舶の定期検査、中間検査のほか、日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避することで修繕費の削減を図る。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も、地元商工会、観光協会等の関係機関と連携した情報発信を行うとともに、離島活性化方策として、島内イベント等を開催し、需要喚起の取組を実施することにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
蒲江～深島航路 運営協議会	佐伯市	蒲江～深島の離島 航路の運航	<p>○観光関係部署との連携、インターネット等を活用した広報を通じて、観光客の増加に取り組んでおり、計画どおりの収益を達成した。</p> <p>○令和4年10月から運航事業者となった佐伯市は、細かな節減に努めるなど経費の圧縮を図っており、安定的な航路運営を行っている。</p>	A	B	<p>○今後も人口の減少が見込まれており、島民利用の増加は望めないことから、観光関係部署と連携を図りながら引き続きホームページやSNS等で情報発信を行い、来訪客の増加を図る。</p> <p>○更なる経費節減に努め、欠損額の抑制を図る。</p> <p>○前運航事業者の撤退に伴い、令和4年10月からは佐伯市が運航事業者として事業を引き継いでおり、引き続き安定的な航路運営が継続されるよう運営改善の取組を行う。</p>	<p>島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も観光関係部署と連携して交流人口の増加を図りながら、離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津久見～保戸島 航路運営協議会	津久見市	津久見～保戸島の 離島航路の運営	<p>○新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い、各種イベントの再開を促進することなどにより、観光客や釣り客等の利用は回復傾向にある。</p> <p>○市HP、観光協会HPでの情報発信や日本語版、英語版の保戸島の観光パンフレットを市の公共施設などに設置し、利用客の増加を図っている。</p> <p>○令和4年10月から津久見市が航路を引き継いだ、前運航事業者である用船委託事業者と積極的にコミュニケーションをとり、安定的な航路運営を行っている。</p>	A	B	<p>○今後はさらに観光部署と連携して、保戸島の魅力発信の取組を強化し、来訪者の利用拡大を図る。</p> <p>○船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避する。</p> <p>○細かな節減に努め経費の圧縮を図る。</p> <p>○引き続き安定的な航路運営が継続されるよう運営改善の取組を行うとともに、長期的な航路運航に向けた協議を進める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も観光部署と連携して観光ツアーの取組により利用拡大を図ることにより、離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
延岡市離島航路 確保維持改善協議会	日豊汽船株式会社	島浦～浦城	<p>【航路改善計画(令和2年度策定)に基づく取組や交流人口を増やす取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GTFSやSNS(LINE)を活用した運航情報の発信を実施した。 ・「島業」推進協議会やNPO法人しまうら未来開発プロジェクト、島浦町で活動する地域おこし協力隊と連携して観光客の誘客に繋げた。 <p>【離島住民運賃割引の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島民の利用促進と負担軽減に資する離島住民運賃割引の導入に向け、関係者間で協議・検討を重ねて令和7年4月に導入が実現した。 	A	B	<p>今後、令和7年11月にリプレイスしたフェリーの減価償却費の負担が生じるとともに、高速艇についても老朽化に伴うエンジンの故障が懸念されるため、機関換装等を検討する必要がある。 今後も航路を維持していくため、引き続き航路改善計画に沿った取組を実施し、経費の削減に努めるとともに、関係機関と連携しながら地域資源を活用した観光振興による利用促進を図る。</p>	<p>島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も航路改善計画をより具体化して実施していき、離島住民運賃割引の導入による島民移動の活性化、観光資源のPRIによる来訪者の増加を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
串木野・川内～甑 島航路対策協議 会	甑島商船株式会社	串木野・川内～甑 島航路の運航	<p>・甑島への入込観光客の誘客促進を図るため、薩摩川内市・いちき串木野市のご支援、ご協力のもと新造船「結Lineこしき」就航を祝うイベントを開催し、加えて就航記念として、4月より本土からの日帰り利用者向けの500名限定の割引切符(5割引)を発売、9月からは乗用車(500台限定)・同乗者の運賃を5割引として宿泊をセットとした旅行商品を販売し、島の魅力を発信し認知度向上に向けた情報発信の強化を図り一層の誘客促進を図った。</p> <p>・令和7年3月20日の新船就航に併せて運賃改定を行ない、引き続き、安定的な航路運営に努めた。</p> <p>・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで利用促進を</p>	A	B	<p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営を行う。</p> <p>・「甑島片野浦のカノコユリ群落」が、国の天然記念物として正式に指定となる見込みで、引き続き、特定有人国境離島法の滞在型観光促進事業等を活用しながら、地元自治体・観光関連事業者と連携し、島外からの交流人口の増加を図る。</p> <p>・令和7年3月20日就航の新船効果により更なる誘客促進を図り、引き続き、安定的な航路運営に努め、航路の維持・確保に努める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後は使用船りプレイスによる新船効果を活用しつつ、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
鹿児島～三島～ 枕崎航路対策協 議会	三島村	鹿児島～三島～枕 崎航路の運航	<p>・増便等による利便性の向上により、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した利用促進に取り込むことで、輸送量の維持・確保に努めた。</p> <p>・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</p>	A	B	<p>・今後も、輸送量確保のため、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した、利用促進に努める。</p> <p>・本航路は、住民の利便性向上のため、平成28年10月より、便数利便性改善支援制度を活用して、週3便から週4便へ増便したところであり、今後、運航日程・発着時刻に関する住民の要望や利用動向を踏まえ、さらなる航路の利用促進に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も利便性向上に努め、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した取組を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島～十島～ 名瀬航路対策協 議会	十島村	鹿児島～十島～名 瀬航路の運航	<ul style="list-style-type: none"> ・十島村において、定住対策関連事業(交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等)に取り組むことにより、本航路における輸送量の確保及び航路収支の維持を図った。 ・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減及び安定的な航路運営に努める。 	<p>島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等に取り組むことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
鹿児島～喜界～ 知名航路対策協 議会	奄美海運株式会社	鹿児島～喜界～知 名航路の運航	<ul style="list-style-type: none"> ・奄美群島振興交付金を活用した運賃軽減事業を継続的に実施し、離島住民の移動の利便性向上を図った。 ・奄美群島誘客・周遊促進事業において、人気アニメとコラボして奄美航路の周知及び国内外での利用促進を行った。 ・燃料価格の高騰に対応するため、燃料油価格調整金を適切に収受した。 ・船員確保の為、水産高校等に訪問・求人をおこない幅広く求人活動を行った。 ・悪天候等による欠航に対応するため臨時便を運航し、さらに地域の要望による運航スケジュール変更 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・R7.6.1からの減便及び知名港休止による影響を最小限に抑えるため、臨時便の設定や運航スケジュールの変更を的確に実施していく。併せて、奄美群島振興交付金等の支援事業を活用し国内外からの利用客の促進を図っていく。 ・船員問題として、船員の人手不足や有資格者の確保が問題になっている。対策として県外の水産高校や海員学校含め積極的に訪問し採用活動を強化する。また、船員の労働環境の改善・資質向上に取り組む。 ・船舶の老朽化に伴う修繕費・維持管理の費用が物価高の影響も含め増加している。このため安定的な輸送を確保しつつ、必要最小限の経費に抑えるよう努める。燃料油価格の対応としては引き続きグループ会社との共同購入や効率的な運航を進めていく。 	<p>島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も関係機関と連携した収益の確保、船員の雇用、経費削減などの取組を進め、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宮之浦～口永良部・島間航路対策協議会	屋久島町	宮之浦～口永良部・島間航路の運航	<p>・島民にとって必要不可欠な生活航路としての安定的な航路運営に努めたが、今年度も9月まで噴火警戒レベル2が続いたことに加えて荒天による欠航が相次いだことにより、航行回数は約6%、旅客数は約7%、車両航送数は約2%の減となった。しかし、噴火警戒レベルの低下から公共工事が実施されるようになり、貨物輸送量は昨年度よりも約25%の増となった。</p> <p>・上記理由から利用者が低迷する本航路の利用拡大に向けて、海の日イベントと銘打ち、本町営船を観光資源のひとつにすべく住民と交流を図った。他に船内掲示式により、七夕等、季節に即した催しを行った。</p> <p>・本町の観光課と共同し、口永良部島の観光案内リーフレットを作成・設置した。また利用増進施策の推進に伴い、渡航目的別の利用者数集計を新たに実行した。</p> <p>・平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減す</p>	A	B	<p>一部公共工事が実施・再開されたことにより車両・貨物の輸送量は一時的な増加が見込まれる。また現在噴火警戒レベルが1となったことから旅客数も多少の増加が予想される。しかし依然として人口減少は深刻であり、将来的には各種輸送量が減少していく見通しである。離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、引き続き運賃低廉化事業を実施するとともに、安心安全な運航に努め、本航路利用者の維持を図る。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。今後も人口減少や噴火警戒レベルの影響に注視しつつ、関係機関との連携のもと交流人口の増加策を実施していくことにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
与路～古仁屋航 路対策協議会	瀬戸内町	与路～古仁屋航路 の運航	<p>・イベント開催など、地域住民の要望に応えるとともに、必要に応じて運航ダイヤの見直しを行うなど、利用者と航路運営の課題を共有しながら、輸送サービスの向上に努めた。</p> <p>・令和4年度に策定した航路改善計画に基づき、R6.4.1より通常ダイヤの一部を変更し、これまで日曜日のみだった古仁屋からの日帰り可能ダイヤを、水曜日にも設定し、請島及び与路島への観光利用や奄美本島に在住する請島及び与路島出身者の住民の利用促進に努めた。</p>	A	B	<p>・目標年間輸送量を確実に達成できるよう、与路島、請島でのイベント開催や農業振興等による取扱い貨物の増など、町の施策と連携した需要喚起策に努める。</p> <p>・現在運航している船舶の老朽化による、整備等の不具合の発生を減少させるため、代替船建造を行っており、離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保するとともに、安定的な航路運営に努めたい。</p>	<p>島内の人口減少が進む中で、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後もイベント開催や農業振興等による取扱い貨物の増など、町の施策と連携した需要喚起策に努めることで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	
瀬相～古仁屋～ 生間航路対策協 議会	瀬戸内町	瀬相～古仁屋～生 間航路の運航	<p>・平成29年4月より実施している加計呂麻島民を対象とした離島住民割引を引き続き実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図った。</p>	A	A	<p>・加計呂麻島住民を対象とした離島住民割引を継続して実施し、島民の利便性確保、負担軽減に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努めるとともに、日常の整備により不具合発生を減少させ、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も加計呂麻島の住民を対象とした離島住民割引により利用拡大を図ることにより、島民の利便増進の取組を実施することで、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
天草～長島航路 対策協議会	天長フェリー株式会 社	天草～長島航路の 運航	<ul style="list-style-type: none"> ・長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、特に長島町など行政が実施する各種イベントと連携し、島外からの交流人口の利用促進を図ることで、目標の輸送量確保及び航路利用の促進に努めた。コロナ5類移行とともにイベントの再開、人・車の往来が増えてきた。 ・長島町が獅子島住民の利用促進の一環として実施している自動車運賃を一部助成制度(平成22年7月より実施)を活用し、自動車輸送量の確保に努めている。 ・平成30年10月より獅子島住民を対象とした離島住民運賃割引制度により、島民の利便性確保、負担軽減を図っている。 ・上記の自動車運賃一部助成及び離島住民割引制度に獅子島住民は享受し、感謝されている。 ・新船「ロザリオ・カーム」就航後、主燃料(A重油)の1回あたりの減少や、潤滑油(ガデニヤオイル)の年間消費量の減少、船主責任保険等の保険料の減少等の効果があったが、重油の高騰や保険料率の引上げ等もあり大きな節減には至っていない。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持、確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営を行う。 ・引き続き、新型コロナやインフルエンザ等の感染症に対する感染防止策として船内消毒、アルコール消毒液の設置、従業員のマスク着用・体温計測・手洗い等の実施に努める。 ・天草～長島航路の利用促進、特に獅子島への化石見学、グルメ利用等の利用促進を図るとともに、長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、地域間交流事業など島外からの交流人口の利用促進を図り、輸送量の維持に努める。 ・平成30年3月に策定した「航路改善計画」に基づく運航形態の見直しや経費削減等効率的な航路運営に努める。 	<p>島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>今後も獅子島への化石見学、グルメ利用等の利用促進を図るとともに、長島町や天草市など関係自治体との連携による交流人口の増加を図ることにより、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	下関市	竹崎～六連島航路	燃料使用量の削減に努めていたが燃料価格の上昇により燃料費が高止まりしている。(軽油単価平均R6～123.6円、R7～126.0円)経年により故障箇所が増えてきている。継続して安全運航を行っている。	A	B	島民及び利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい航路サービスへの改善に取り組んでいく。引き続き燃料費、修繕費等の削減に努め、安全運航を最優先にして安定的な航路運営を行う。 また利用者数は減少傾向にあるがイベント等利用増の時は臨時便等で適切に運航する。既存の島内案内パンフレットをデジタル化し観光情報を気軽に取得できるように取り組み、観光促進を図る。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい航路サービスへの改善を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	
山口県生活交通 確保維持改善協 議会	下関市	蓋井島～吉見航路	燃料使用量の削減に努めていたが燃料価格の上昇により燃料費が高止まりしている。経年により故障箇所が増えてきている。テレビ等のマスコミの取材に積極的に協力し、観光客の誘致等に努めている。平成30年4月に新船が就航し、島のPRに努めた。 また自治会や島民が中心となり島おこしを行っており、市としても積極的に情報発信も行っている。	A	A	島民及び利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい航路サービスへの改善に取り組んでいく。引き続き燃料費、修繕費等の削減に努め、安全運航を最優先にして安定的な航路運営を行う。 また利用者数は減少傾向にあると思われるがイベント等利用増の時は臨時便等で適切に運航する。既存の島内案内パンフレットをデジタル化し観光情報を気軽に取得できるように取り組み、観光促進を図る。	島内の人口減少が進む中、また燃料費高騰や物価上昇の中、島民の民生の安定及び向上のため、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい航路サービスへの改善を図り、引き続き離島航路の確保維持に努められることを期待します。	